

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2	・部屋を広く使用できるよう調整が必要 ・午後の療育と放デイの重なる時間がある。声掛けしながら行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4		・水道は年長児の身長に低いと感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4		活動にあわせホール、教室を使い分けている。ホールでもパーティションで区切り行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		・ホームページで評価の公表を実施。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		・定期的に取り組んでいる ・ウェブも活用している
適切	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		・児発管中心に取り組んでいる。 ・相談支援員と一緒に新規利用の際、サポートファイルを活用し、計画相談を行い計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		・NCを活用し、利用児毎の状況を把握している。 ・心理士による田中ビネー、新版K式の結果を参考に支援を行っている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4		・相談支援専門員の計画に基づき、児発ガイドラインの支援項目から選択しております。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4		・支援のねらいを基に、現状の子にできる支援、優先する支援を考えている。

な 支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	・ 主担当が中心となって作成し、共有している
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	・ 継続する部分、変更する部分を話し合い決めている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4	・ 子の状況に応じて、取り組む順番を臨機応変に対応している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	・ 先週の子の姿も合わせて打ち合わせを行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	・ 毎日の振り返り時間を確保するようにし、共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	・ 必ず、日誌、個別記録を残している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	・ 6か月に1回モニタリングを行い見直しを行っております。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	・ 児発管が中心となって連絡をとっているが、詳細については事前に共有している。 ・ ことらっこ教室に参加し母子支援を行いました
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	3	1 ・ 医ケア、重心の子どもの利用はありません。 ・ 保健師や医療コーディネーターに相談する等連携を行っている。 ・ 機関によって連携の取りやすさや取りにくさを感じる。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	4 ・ 該当なし ・ 医療的ケア児等の未来を考える会を通して体制を整えていきたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	・ 支援者会議を定期的に行っている。支援者会議だけでなく子の様子について気軽に連絡がとれたら良い。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	・ サポートファイルを活用しての就学時引継ぎ会議を開催している。 ・ 直接見学等子どもの様子を見にきていただいている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	・ 療育センターの事業を利用して研修を開催。他の事業所見学等連携を行った。 ・ 他事業所との意見交換できる場があるともっと充実した支援につながれると考えている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	4 ・ ほとんどのお子さんが就園しているため事業所としての交流する機会はありませんでした。 ・ コロナ禍であるため実施できていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	・ 児童発達支援管理責任者が定期的に行われる会議に積極的に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	・ 療育後に必ず保護者と話し合う時間を設けている。

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		4	・具体的な保ご者支援はまだ取り組めていないが「父の会」や行事の機会を増やした。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		4	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		4	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		4	・年2回のモニタリングの他、相談事には随時対応している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	2 ・父母会がないため、支援は行ってないが保護者発信の活動は応援していきたい。 ・「父の会」を開催し、つながりを作れるようにしている。保護者同志の連携は課題である。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		4	・保護者から相談の申し出があった場合は、迅速に対応し丁寧な対応を心掛けています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		4	・月1回「すくすくだより」を発行し情報の発信を行っている。また、メール配信サービスを取り入れ活用している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか		4	・鍵のあるキャビネットへ保管している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		4	・視覚提示、タブレットを活用している。 ・直接、間接的にコミュニケーションをとるようにしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			・コロナ感染拡大防止のため開催することができませんでした。 ・周辺施設への広報配布は行き周知を図っている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		4	・次年度は来所している全利用児が避難訓練を体験できるよう検討している。 ・保護者にも避難場所等伝えている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		4	・月1回実施、終了後に振り返りをし、反省点、改善方法を共有し記録に残している。 ・保護者への周知をおこなっています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		4	・フェイスシートで確認。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	***	***	・食事の提供はありません。 ・基本情報を把握し、保護者に確認しながら対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		4	・全体で共有し、改善策を考えている。3か月後に振り返りを行い事故防止に努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		4	・研修計画に基づき必ず年1回は研修を行っている。また、外部研修にも参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		4	・虐待防止委員会を施設内で設定し、身体拘束を行わなければならない場合のマニュアル等を作成している。また、内容について研修を行い職員間で周知・徹底している。